

山ぼうしは「立志の樹」といわれ、正門脇の「やまぼうし小庭園」には、
『花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし』
の碑（初代PTA会長 盛合聡の揮毫）がある。



山ぼうし - 友愛・協調・責任 -

2015年2月6日 NO.11(2月号)

岩手県立宮古工業高等学校 校報(発行者 校長)

祝 ■平成26年度全国工業高等学校長協会■

◇ジュニアマイスター顕彰◇



シルバー 23名



ゴールド 5名

ゴールド及びシルバーとも 昨年度比 倍増 !!

生徒及び教職員の弛まざる努力により、ジュニアマイスター顕彰制度の認定者数が、28名（ゴールド5名、シルバー23名）を数え、昨年度（平成25年度）実績から倍増しました。

今後とも生徒諸君は、ジュニアマイスター顕彰制度を視野に入れながら、しっかりと志に基づき、将来の夢を実現すべく、毎日の学習により一層励んでください。

シルバー(平成26年度:23名)

M3	青名端 一友	M3	青山 航 佑
M3	伊藤 駿 矢	M3	小田代 洸 夢
M3	柴田 一 樹	E3	加藤 利 輝
F3	箱石 翼	E3	村田 竜 聖
F3	山本 千 咲	F3	山崎 雅 登
M2	遠藤 京 介	M2	秋田 裕 貴
M2	桂 敬 太	M2	大下 寿 磨
M2	古舘 佳 典	M2	木村 拓
E2	永洞 利 林	M2	三浦 悠 暉
M3	飯田 正 輝	M3	赤沼 元 気
M3	千鳥 柁 己	M3	田中 健 太
M3	松崎 克 哉		

ゴールド(平成26年度:5名)

M3	武藤 浩 太	M3	前川 朋 弥
M3	吉水 啓 大	E3	白土 功 大
E3	澤山 カイト		

【参考】平成25年度：ゴールド2名、シルバー10名

【顕彰制度の目的】全国の工業系学科に在籍する生徒が目的を持って意欲的に学習に取り組むことを促すには、生徒が身につけた知識・技術・技能を積極的に評価することが重要である。

そこで、本協会（全国工業高等学校長協会）では、工業系学科の生徒が職業資格の取得や技術・技能検定の合格を通して、工業に関する知識・技術・技能を習得し、自信と誇りを持って、産業界で活躍できるよう励ますことを目的として、ジュニアマイスター顕彰を実施する。

【認定】取得した資格や合格した検定試験および各種競技・コンクール等での優秀な成績等をジュニアマイスター顕彰に係る区分表（以後、「区分表」）から得点に換算し、合計した点数により、それぞれ「ジュニアマイスターシルバー」（30点以上45点未満）、「ジュニアマイスターゴールド」（45点以上）に認定する。但し、「ジュニアマイスターシルバー」の取得者で、「ジュニアマイスターゴールド」を申請する者は、改めて今期区分表で再計算し、45点以上の場合のみ認定する。【平成26年度前期全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰制度 実施要項】より

◆勤労観・職業観育成講座(講演会)◆

講師：PTA会長（ラサ工業（株）宮古事業所所長）

伊藤 正 氏

演題：「企業側から生徒・保護者に望むこと」

期日・対象：2015.1.29（2学年保護者対象）

昨年度（平成25年度）は、株式会社エフビー代表取締役会長「田鎖 巖」氏にお願いした『勤労観職業観育成講座』の講師を、今年度は本校PTA会長であるとともに、ラサ工業（株）宮古事業所所長でもある「伊藤 正」氏にお願いいたしました。

講演では、本校出身者のアンケート調査結果を踏まえ、貴重なお話をいただきました。社会人になるということは、「自分の意思で物事を決め、自分の言動に責任を持つ」こと、そして、「ルールを守り、他人に迷惑をかけないように行動する」ことです。在校生諸君、しっかりと肝に銘じてください。

【講演の概要】

1 企業が望む生徒像

- ①在学中休まない人。→皆勤・精勤であること。
- ②健康であること。→安全に作業ができる。就けない業務はない。
- ③3年間クラブ活動を続けたか。→忍耐力・上下関係・協調性。

2 社会人になるということ

- ①親の保護から離れ、一定の収入を得て生活すること。
- ②仕事を通じて社会との関わりを持つこと。
- ③自分の意思で物事を決め、自分の言動に責任を持つこと。
- ④ルールを守り、他人に迷惑をかけないように行動すること。

3 社会人に向けて

- ①我慢のできる人間になる。
→自分の思うままにならない。
- ②怒られ上手になれ。 【図1】講演の様子
→なぜ怒られたかを理解する。（態度・作業・安全）
- ③話を聞ける・話ができる人になる。
→自分自身を理解してもらう上で大切である。
- ④家族との会話を増やす。
→お父さんお母さんの仕事について聞く。
お父さんお母さんが先生です。



⑤校則を守れ。

- 会社には、就業規則がある。
校則を守れないものは、就業規則は守れない。

4 社会人になったら

- ①趣味を持つ。
- ②多くの先輩・同僚と接する。
- ③どこかで・誰かが、あなたを見ています。
- ④地域に貢献できる人になる。

5 学校生活に望む

- ①整理・整頓・清掃→自分から進んでやる。会社においても基本。
- ②段取りのできる人になれ。→ものづくりでは一番大事。言われる前に考える。
- ③資格をとる、努力をする。

第3回国連防災世界会議 岩手県主催パブリックフォーラム 「文化財と防災」シンポジウム

「津波模型班」による実演会が決定!!

開催日時：平成27年3月17日(火) 9:30~16:30
開催場所：ペリーノホテル一関(岩手県一関市)
担当：岩手県環境生活部若者女性協働推進室

平成27年3月14日(土)から18日(水)まで、仙台市で開催される「第3回国連防災世界会議(以下「国連防災会議」)」には、国連加盟193か国から、各国首脳・閣僚を含む政府代表団、国際機関、認定NGOなど4万人以上の参加者が見込まれています。今回の国連防災会議について、岩手県としては、①復興支援に対する謝意を示すとともに、②本県の復興に向けた取組や防災・復興に関する本県の先進的事例を世界に発信し、③国際社会に対して支援の継続をお願いする重要な機会であると位置づけ、積極的に関連事業等を実施するということが、平成26年8月25日にアナウンス(記者発表)されました。

◆https://www.pref.iwate.jp/dbps_data/_material/_files/000/000/027/630/kokurenbousaiseikaikaigi.pdf◆

このような状況の中、平成27年2月3日(火)、岩手県環境生活部若者女性協働推進室室長 鈴木浩之様が来校され、本校に対し「津波模型」展示・実演等に係る正式な依頼がありました。

なお、国連防災世界会議岩手県関連事業におけるシンポジウムの概要は、下記のとおりです。

第3回国連防災世界会議岩手県主催パブリックフォーラム 「文化財と防災」シンポジウムの概要

- 1 オープニングアトラクション 延年の舞
 - 2 岩手県からの防災・復興に関する提言
岩手県知事 達増 拓也 氏
 - 3 専門家による講演
 - ①立命館大学教授(京都大学名誉教授) 土岐 憲三 氏
 - ②世界遺産アラブ地域センター長 ムニル・ブシナキ氏
 - 4 アトラクション 一関第一高等学校家庭クラブ「私たちの復興支援」
 - 5 パネルディスカッション
 - ①テーマ「文化財と防災」
 - ②コーディネータ/立命館大学教授 土岐 憲三 氏
 - ③パネリスト
 - ・元ユネスコ文化局長補佐 ムニル・ブシナキ 氏
 - ・前文化庁長官 近藤 誠一 氏
 - ・京都大学防災研究所巨大災害研究センター長・教授 林 春男 氏
 - ・中尊寺 貫首 山田 俊和 氏
- 【展示コーナーの概要】
- ・復興支援に対する感謝を伝えるVTRの上映
 - ・震災から現在に至る各種パネル展示
 - ・岩手県立宮古工業高校製作「津波模型」の展示 その他

国連防災世界会議では、疑似津波実演会とともに、視覚的に分かりやすいプレゼンやポスターセッション等を有効に活用し、「災害を忘れず、教訓にして備えること」、そして「防災教育・啓発とは、自らの命は自ら守り、地域は自分たちで守る自助と共助の意識を高め行動できるようにすること」など、私たちがこれまで取り組んできた「防災思想の普及」についてご紹介したいと考えております。

岩手県立宮古工業高等学校 機械科 課題研究 津波模型班



実演回数100回目磯崎小学校・藤原小学校実演会・「震災から8年半」TVラウ「啓発活動の継続を語る



特別遠征企画 関西方面実演活動(大阪・徳島・兵庫)

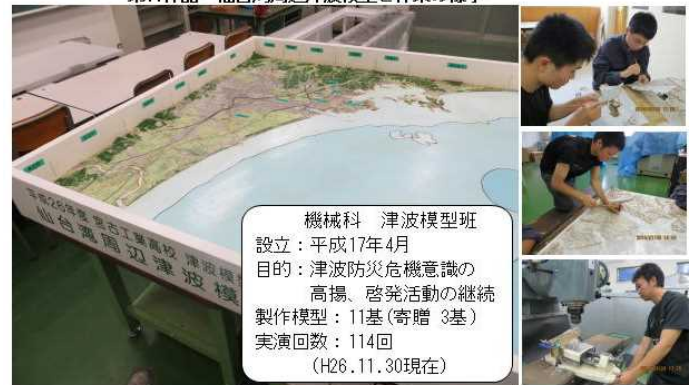
疑似津波実演会 (平成17~26年度)	
小学校	34回
中学校	6回
高等学校	8回
大学等	4回
イベント発表会場	62回
合計	114回

祝
製作10周年

実演回数100回超

防災功労者内閣総理大臣賞

第11作品 仙台湾周辺津波模型と作業の様子



機械科 津波模型班
設立：平成17年4月
目的：津波防災危機意識の高揚、啓発活動の継続
製作模型：11基(寄贈 3基)
実演回数：114回
(H26.11.30現在)

【図2】ポスターセッション用資料(和文・英文両方を準備)



「保健だより」

(平成26年11月28日(金)第7号)より抜粋

岩手県ではインフルエンザ感染率が非常に高いままですが、本校は平成27年1月23日現在までインフルエンザと診断された生徒は**ゼロ**でした。

本校では**感染性胃腸炎**の方が怪しいです…

今のところ落ち着いていますが管内の高校では閉鎖措置もあったようですので、今後急速に感染の拡大が予想されます。今のうちから予防の徹底をしておきましょう!

※念押しですが、予防のために…

- ・ 外出後、食事前、トイレの後は「**手洗い・うがい**」徹底!
- ・ 室内の**加湿・換気**。十分な**栄養・睡眠**。
- ・ 流行中では人混みを避ける。
- ・ 他人にうつさないよう**マスク**を着用し**せきエチケット!**

(マスクが必要な人は保健室へ!)!!!

もしも、かかったかな?と思ったら…

インフルエンザ・感染性胃腸炎にかかった場合、また、疑いがあった場合は**出席停止**扱いとなります。体調が悪いと感じたら、無理な登校は控えましょう。早めに医療機関を受診することが大切です。

出席停止手続きに必要なこと

- ① 医療機関の受診。
- ② 診断名を学校に連絡。
- ③ 回復後、保健室から用紙をもらい記入・薬の説明書と一緒に提出。

